

研究名： 当院で不妊治療を受ける患者の治療データとその予後の相関の検討

1. 研究の目的

当院では不妊治療ならびに将来生殖補助医療を受けるための卵子や精子、受精卵の凍結保存を行う上で血液検査、エコー検査、精液検査および採卵後の卵子や受精卵の発育状態を周期ごとに記録しています。本研究ではこれらのデータと共に移植した胚とその妊娠予後の関係を検討することで、より妊娠しやすい治療法や胚の選別方法を確立し、患者様の治療期間の短縮や経済的負担の軽減に繋げることを目的としています。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2003年4月1日～2024年11月30日までに当院で卵子や精子・受精卵の凍結保存ならびに不妊治療を受けた患者様
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2029年12月31日
- ③ 研究方法：不妊治療ならびに将来生殖補助医療を受けるための卵子や精子、受精卵の凍結保存を行った患者様の血液検査値、エコー検査像、精液検査値、採卵後の卵子および受精卵の状態、胚移植の際の検査値及びその妊娠の有無や予後を統計的に解析し、妊娠に近い治療法や胚の選別方法を検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

当院にて不妊治療ならびに将来生殖補助医療を受けるための卵子や精子、受精卵の凍結保存を行った方の診療情報、採精ならびに採卵した方の精子・卵子・胚の発育情報等を用います。

治療を行った方は全て通し番号にて氏名、生年月日を削除して研究IDに置き換えているため個人を特定できないようになっております。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら **2025年3月31日まで**に下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、研究期間内でしたらいつでも受け付けておりますので下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 不妊診療科 浦田 陽子
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7078）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 不妊診療科 浦田 陽子